



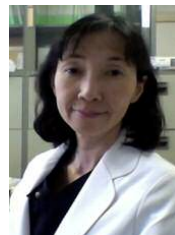
編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24
TEL 099-285-3012 E-mail: gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp https://www.kagoshima-u.ac.jp/atsumime/

■ご挨拶 男女共同参画推進センター副センター長（女性医師等支援担当）増田 美奈（鹿児島大学病院）

この度、男女共同参画推進センター副センター長（女性医師等支援担当）を拝命しました増田美奈と申します。平成25年から鹿児島大学病院で女性医師および女性医療職の復職/キャリア支援を行っており、男女共同参画推進センター事業にも部局担当委員として参加させていただいております。

大学病院は1974名の職員（平成29年4月時点）、328名の教員（内148名は医歯学総合研究科所属業務）、276名の医員が在籍し、日々診療に従事しその傍ら、特定機能病院（高度先進医療の研究・治療、医師の研修にあたる）として研究・教育を担っております。業務の特殊性ゆえワークライフバランスについては厳しい面もありますが、昨年より『大学病院における医員の多様な働き方に関する規則』が制定され、ライフイベント期にもキャリアを継続できるよう配慮されています。また現在、医療人としての一歩を踏み出したばかりの若い研修医103名が研修を行っています。彼らは将来の鹿児島大学を担う若き研究者でもあります。これまでは利用できる支援制度が限られていることが問題でした。しかし、昨年末から男女共同参画推進センター事業のメンター制度が研修医にも利用可能となりました。これらの取組がより多くの研究者の支援に繋がればと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



■学系の取組紹介：農学部

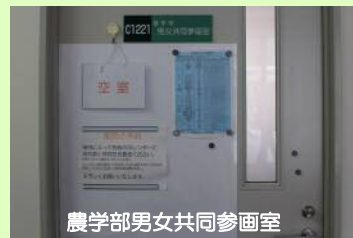
農学系男女共同参画推進センター委員 渡部由香

農学部では女性教員が多いC棟の1Fに農学部男女共同参画室を設けています。本年度は部屋の形状に合わせた整備を進めてまいりました。この部屋は男女共同参画関連の打ち合わせや学生の相談等に使用しており、メンター相談室も兼ねています。部屋は予約表（カレンダー）に記入して使用するようになり、パーティション、テーブルを設置しています。このような場所を作ることは男女共同参画への取組の「視覚化」につながると考えています。

また、農学部独自の男女共同参画企画として、学部長と女性教員との懇談会があります。昼食会として各自ランチを持ち寄り、学部長室に集まった懇談会で、今のところ1年に1、2回程度の実績ですが、女性教員の希望もあり、もう少し回数を増やす予定です。昼に行く理由は時間の区切りがしやすいことと、夕方からの開催ですとお子さんの送り迎えなどで参加できない教員がいるためです。また、時間を有効に使うために移動時間の必要な外食は考えておりません。女性教員と大学院生との交流も行う予定で、開催方法や周知の方法を検討中です。

女性研究者の在籍数ですが、昨年1名の女性教員を講師として迎えることができ、在籍率は若干ですが向上しました。また、女性研究者増に向けた具体策としては、本年度末に停年退職される教授2名の後任として、2分野について助教の女性限定公募を開始したところです。

最後に、学内の保育所の建設についてですが、建築場所について農学部は様々な提案を行ってきた経緯があります。内閣府の企業主導型保育事業の助成を受けて建設が開始されたことに安堵しております。



農学部男女共同参画室



連合農学研究科

連合農学研究科は、教授会を利用して男女共同参画セミナーを開催し、意識啓発を図っています。本年度は、平成29年9月8日に開催され、浅野陽樹副センター長（ワークライフバランス支援担当）が、「鹿児島大学における男女共同参画の推進」と題して、WLBの必要性や達成のための課題、改善策等について講演しました。

男女共同参画推進センターは、今後も、各部局の主体的な男女共同参画推進に係る企画に共催したり、情報提供等を行います。センターへのご連絡、ご依頼をお待ちしております。

医歯学総合研究科

医歯学総合研究科研究戦略会議主催、医歯学総合研究科研究協力・倫理審査係及び男女共同参画推進センター共催で、「女性・若手研究者支援制度説明会」を平成29年11月27日に開催しました。URAセンターからの支援制度の説明もなされ、キャリア形成上有用な情報提供の機会となりました。

■学外連携 九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク（愛称Q-wea）

九州・沖縄地区の12機関は、女性研究者支援のネットワークを作り、持ち回りでシンポジウムを開催しています。平成29年度は第9回目となり、福岡女子大学で「女性リーダーの育成と大学の役割」をテーマに、9月25日（月）に開催され、1部の村松泰子氏（日本女性教育会館理事、元東京学芸大学長）の基調講演に続く2部Q-wea参加機関の理事・副学長等によるパネルディスカッション「女性リーダー育成のためのアクションプラン」に、本学からは橋口知副学長（男女共同参画推進担当、男女共同参画推進センター長）が登壇しました。各機関の取組紹介とともに、女性リーダー育成の意義や、取組を男女で参画して進めていく必要性などについて意見交換がなされ、シンポジウム最後には、「Women Support 福岡宣言2017」が宣言されました。今後の男女共同参画と研究環境のダイバーシティ実現、次代の女性リーダー育成の推進に係る有意義な情報交換機会となりました。



パネルディスカッションの様子



■イベント開催

研究者対象：学長と研究者の懇談会

平成30年3月2日に、第1部女性研究者12人、第2部若手男性研究者12人と学長との懇談会を開催しました。第1部は「研究力向上」をテーマに、第2部はフリートークで開催され、URAセンターからの研究支援紹介もありました。参加者からは、部局横断的な研究のための交流機会やそのためのスペース確保、科研費採択に係る支援、研究支援員制度利用資格等への多様な意見が出され、女性や若手研究者の研究力向上に係る支援やワークライフバランス支援等の今後の検討に有意義な時間となりました。



懇談の様子

研究者・大学院生対象：スキルアップセミナー

研究者のスキルアップを目的として、リンクサイエンスの川上輪子氏を講師に迎え理系と文系の分野別英語論文執筆セミナーと、鹿児島大学附属図書館による情報データベース活用ガイドを平成29年11月9日に開催し、53人が参加しました。大学祭期間中の実施ということもあり、大学院生の参加も多く、「大変ためになった」「有益な英語表現を学べた」などの感想とともに、「継続して実施してほしい」「今回の内容を複数回に分けて詳しく実施してほしい」などの要望が多くありました。来年度開催については、関係係等と連携し、検討することとしています。性別に関わらずご参加いただけますので、是非ご利用ください。



セミナーの様子

研究者・大学院生対象：交流会「museカフェ」

平成29年度は、ランチタイムを使って6回開催しました。育児や介護と研究の両立、研究力向上のための支援などが話題となり、かねて接することの少ない異分野の研究者やメンターとの交流機会になりました。少ない人数での集まりが功を奏し、話しやすさにつながり、メンターや育児・介護経験者からWLBの工夫や情報提供がなされるなど有意義な機会となりました。

教職員対象：介護セミナー「認知症について学びましょう」

鹿児島市地域包括支援センターの前田英子氏を講師に迎え平成29年12月7日に開催しました。「認知症が脳の病気であり、タイプにより特徴が違うことを理解することができた」「認知症の人への対応心得を知り今後に生かしたい」「家族の症状を理解できた」「地域包括支援センター等の相談窓口を知ることで安心した」などの感想があり、介護と仕事との両立に必要な知識や相談先を知る機会となりました。本セミナーは、認知症サポーター養成講座を兼ねて開催し、セミナー修了生には、厚労省認知症サポーターとしてのオレンジリングの配布もありました。

女子中高生対象：科学体験塾

平成29年11月の土曜日に、本学理系4学部の6コースで科学体験塾を開催しました。工学部では、「ミクロの世界」を、理学部では、「リズムと形の生まれかた」や、「熱とエネルギーの関係 結晶の作成」について実験・観察、農学部では、ホシザキ南九株式会社との協力による「ソフト食」作り、共同獣医学部では「獣医師がどのように動物の病気と向き合うのか」について馬の臨床検査等を経験しました。サポート役の女子大学院生や学生との交流では、進路選択や学生生活等について聞くことができ、保護者の方にも好評でした。参加者からは、「普段体験する分野ではないので大変勉強になった。」「性別に関わらず自分がすすみたい道に進める世の中になったらいいと思った。」などの感想があり、「女子も理系へ」の意識啓発の機会となったようです。



理学部の様子



獣医学部の様子

教職員対象：保育支援 大学入試センター試験時一時保育と保育支援制度

平成30年1月13日（土）14日（日）に、平成30年度大学入試センター時の業務に係る保育支援を、事業所利用と学内施設利用の2パターンで実施し、5人（延べ人数）の利用がありました。また、土日祝日の大学業務や学会時の保育サービス利用、病児保育利用等の利用料金の一部補助を行う本制度利用は、31人（延べ人数2月末現在）となりました。

■制度の紹介：メンター制度

平成24年度からメンター制度を運用していますが、性別に関わらず若手研究者や大学院生のキャリア形成支援の充実を図るため、制度利用者の対象を、本学の研究者及び大学院生（＊研究者：教員、研究員、附属病院の医員、研修医）に拡大しました。メンター登録は、97人（平成30年2月末現在）です。相談希望の方は、相談窓口専用メールアドレスにより、件名に「相談希望」のみのメールでご利用いただけます。相談窓口担当者から、相談内容や希望するメンター等についての確認について返信し、調整を行います。

利用対象者（本学の研究者・医員・研修医・大学院生）

↓ 申込
「相談希望」

↑ 受付・確認
メンターの紹介
マッチング



相談

男女共同参画推進センター
mentor@kuas.kagoshima-u.ac.jp

メンター

また、学内相談体制の充実を図るため、各学系における相談体制整備の充実についての取組を依頼しています。相談体制の検討、相談対応窓口の配置、相談場所等について、平成29年度の取組状況を調査したところ、14学系中10学系が検討し、相談対応窓口を4学系が設置しています。相談体制の可視化や相談対応窓口の学系内での周知等については、今後の検討課題となっているところが多く見られ、今後、相談体制の充実に向けて取り組んでいただくよう継続依頼することとしています。

Information

学内保育所：企業主導型保育事業により、大学本部のある郡元キャンパスに平成30年10月1日開所予定

交流会：平成30年4月6日（金）11:30-13:00 新任者とメンターとの交流会 場所（事務局本部2階 第1会議室）